

(公社)日本スカッシュ協会ランキングシステム基準設定

(2020 年5月 15 日より有効)

日本スカッシュ協会(以下、JSA)のランキングシステムは以下の規約に沿って運営される。

- ランキングはジャパンランキングのみとする。
- 男女別とする。
- 2ヶ月毎(偶数月の10日を目安)に発行する。
- 大会結果によって得られるポイントは、大会、ランキングトップ選手の参加数、参加人数などによって異なる。
- ジャパンランキングは、過去1年間に出場したポイント取得可能大会の、取得ポイントが多い順から5試合の合計ポイントで決定する。
- ナショナルチーム編成、JSA 主催大会の組み合わせなどは、このランキングを基に競技委員会で検討していく方針である。ただし、これが全てではない。

1. ポイント取得可能大会

- A) JSA 主催の全日本選手権及びジャパンオープン

- B) JSA 地区支部主催のオープントーナメント大会
北海道オープン、東北オープン、関東オープン、中部オープン、関西オープン
中四国オープン、九州オープン

- C) JSA 地区支部主催のクローズ選手権トーナメント大会
全道選手権(北海道選手権)、東北選手権、関東選手権、中部選手権、関西選手権
中四国選手権、九州選手権

- D) JSA 都県支部主催のクローズ選手権トーナメント大会
東京都選手権、神奈川県選手権、埼玉・茨城・栃木・群馬県選手権
千葉県選手権、静岡県選手権

- E) その他、JSA 公認の年齢制限のないオープントーナメント大会。

- F) PSA ランキングポイントを得られる年齢制限のないトーナメント大会

- G) その他、JSA が指定する試合

2. ランキングポイント基準

- ポイント取得可能大会 A),B),E)について『公認オープン大会ランキングシステムポイント規定』(別紙1)
- C),D)について『地区・都県支部クローズ大会ランキングシステムポイント規定』(別紙2)
- F)について『PSA 大会結果ジャパンランキング適用におけるランキングシステムポイント規定』(別紙3)

3. ランキングポイント反映基準

- 国内公認大会は、大会主催者から JSA に提出される結果報告に基づきポイントを付与する
- PSA ランキングポイント適用は、PSA 大会に出場した選手自身の申請に基づき付与する

4. 各種期日

- 会員登録によって得られるランキングの有効期限は翌年 3 月 31 日とし、会員登録を継続することでランキングも継続する。ただし、3 月 31 日までに次年度の登録をしてない場合は抹消となる。
- 各大会のランキングポイントは更新された日付より、原則 1 年間を有効期限とする。時期がずれて間隔が 1 年未満となっても同じ大会のポイントの重複は認めず、最新の大会のポイントが使用される。
- 1 年間の有効期限を過ぎた大会のポイントは次回更新時に抹消される。
- PSA ランキングポイント適用申請は、奇数月 15 日までとする。
- 国内大会結果の反映スパンは、奇数月の 16 日実施分～翌奇数月の 15 日実施分迄を原則とする。(例：7 月 16 日～9 月 15 日実施分を、10 月 10 日ランキングへ反映する。)
- PSA 大会のポイント反映は、直近 2 回発表の PSA ランキング(通常毎月 1 日更新)へ無効・有効となったポイントが反映される。(例：10 月 10 日ランキングへは、8 月、9 月の PSA ランキングで無効・有効となった分が反映される。)

以上

公認オープン大会ランキングポイント規定

平成29年2月1日改版

『ランキングシステムポイント基準設定』（ポイント取得可能大会）の(B),(E)にあたる大会のランキングポイントは、後述の「算出グレード」、「グレード／ポイント表」、および「ボーナスポイント」によって決定され、結果順位に応じたポイントが選手に与えられる。ただし、初戦敗退者、途中棄権およびラッキールーザーなど例外事項についてはその限りではなく（4）、（5）、（6）に記す。

（1）グレード算出法

全日本選手権及びジャパンオープンを SUPER A グレードと定め、他大会については A > B > C > D > E > F という順にグレードを定める。

（手順1）トップ選手の参加数によるグレード設定

A～F グレードの算出基準は、まず、対象ランキング選手のトーナメント参加数によりグレードを仮設定する。

	ランキングトップ 10 選手数	ランキング 11-20 位選手数
A グレード	8 名以上(トップ 5 を 3 名以上含むこと)	5 名でトップ 10 の 1 名に換算
B グレード	7 名以上(トップ 5 を 2 名以上含むこと)	5 名でトップ 10 の 1 名に換算
C グレード	6 名以上(トップ 5 を 1 名以上含むこと)	5 名でトップ 10 の 1 名に換算
D グレード	5 名以上(トップ 5 を 1 名以上含むこと)	5 名でトップ 10 の 1 名に換算
E グレード	4 名以上	5 名でトップ 10 の 1 名に換算
F グレード	上記に該当しない場合	5 名でトップ 10 の 1 名に換算

JSA 地区支部主催オープン大会、その他のオープン大会が PSA/WISPA 公認大会の場合、海外在住の PSA/WISPA 選手はトップ 5 扱いとして換算する。

(手順2) 参加人数によるグレードアップ/ダウン

大会参加人数により 1 グレードアップ又は 1 グレードダウンとし、最終的にグレードを決定する。※参加者が 8 名未満の場合は公認大会として成立しない。

仮グレード	グレードアップ条件	グレードダウン条件
A グレード	なし	トップ 10 が 9 名未満かつ 56 名未満(男子) 42 名未満(女子)
B グレード	100 名以上(男子) 84 名以上(女子)	56 名未満(男子) 42 名未満(女子)
C グレード	100 名以上(男子) 84 名以上(女子)	56 名未満(男子) 42 名未満(女子)
D グレード	100 名以上(男子) 84 名以上(女子)	56 名未満(男子) 42 名未満(女子)
E グレード	100 名以上(男子) 84 名以上(女子)	56 名未満(男子) 42 名未満(女子)
F グレード	トップ 10 が 3 名で、かつ 100 名以上(男子) 84 名以上(女子)	なし

(2) ポイント算出法

ポイントは後述する公認大会グレード/ポイント表の通りとする。ただし、SUPER A グレードは全日本選手権とジャパンオープンのポイントはそれぞれ別に定める。
また、同じグレードであっても、ランキングシステムポイント基準設定《ポイント取得可能大会》の (B) は、通常のオープン大会より多くのポイントが得られる大会とし、ポイント表に別に定める。

(3) ボーナスポイント

SUPER A グレード以外の大会は、さらに下記の条件でボーナスポイントがつく。ただし、小数点以下は四捨五入とする。

1. 全日本、ジャパンオープンベスト 8 以上選手参加数による 20 % プラスボーナス
ドロー作成に用いたランキングに含まれる全日本またはジャパンオープンのベスト 8 以上の選手のうち、棄権者を除いた大会参加人数でグレードに応じてポイントが 20 % アッ

ブする。

グレード	人数
A グレード	7 人
B グレード	6 人
C グレード	5 人
D グレード	4 人
E グレード	3 人
F グレード	2 人

2. 参加人数による 20%、35% マイナスボーナス

上述（手順 1）における仮グレードが F グレードの場合、参加人数が男子 66 名、女子 42 名未満の場合はポイントを 20% マイナスする。参加人数が 16 名未満の場合はさらにポイントを 15% マイナスする。

3. PSA/WISPA 公認取得による 50% プラスボーナス

JSA 地区支部主催オープン大会、その他のオープン大会が PSA/WISPA の公認を取得した場合、海外在住 PSA/WISPA 選手が 4 名以上及び国内在住の PSA/WISPA 選手が 4 名以上の合計 8 名以上であればポイントは 50% プラスとする。

（4）初戦敗退者のポイント

初戦敗退の場合でもポイントを与える。ただし、グレードに関係なく一律ベスト 999 扱いの表示で 1 ポイントとする。予選、本戦方式の場合では本戦の初戦敗退者はランク順通りのポイントを得る。不戦敗も一般勝者と同じ扱い。棄権者は対象外。

ジャパンオープン、全日本選手権の初戦敗退者のポイントについては、参加資格が必要なため、初戦敗退者のポイントはランク 999 扱いの 1 点ではなく、1 回戦勝者の下のポイント扱いとする。ジャパンオープンの予選方法が、予選、本予選となった場合も同様である。例えば、1 回戦勝者がベスト 128 の場合、初戦敗退者のポイントはベスト 256 扱いとする。

(5) 途中棄権に対する措置

本戦以降の対戦を棄権した場合、付与されるポイントを2段階降格とする。
(順位はそのままポイントのみ降格となり、表彰などは対象順位でされる。)

ただし、以下は本措置の適用外とする。トーナメント予選における棄権(トーナメント本戦において適用となる。)

- トーナメント本戦での対戦中の怪我による棄権(大会主催者による認定及びJSA競技委員会の承認が必要)
- 本戦シード選手の初戦棄権(従来通り0ポイントとなる)

また、ノックアップし、0-0から1ラリーを行い1-0となった以降で、その試合の勝利を放棄した場合は、途中棄権(Retire)と扱う。

棄権へのペナルティ適用例

- a) 予選を勝ち上がり本戦(8ドロー)進出したが、本戦1回戦を棄権した場合
結果順位は、これまで「ベスト8」となるところを「ベスト32扱い」となる。
得られるポイントは、「ベスト32扱い」のポイントとなる。
同様に、16ドロー本戦1回戦棄権 ⇒ 「ベスト64扱い」
32ドロー本戦1回戦棄権 ⇒ 「ベスト128扱い」 のポイントとなる。
- b) 本戦(16ドロー)の本戦1回戦及び2回戦を勝利したが、準決勝を棄権した場合
結果順位は、これまで「ベスト4」となるところを「ベスト16扱い」となる。
得られるポイントは、「ベスト16扱い」のポイントとなる。
- c) 予選1回戦を勝ったが、予選決勝を棄権した場合(本戦8ドロー大会)
結果順位は、これまで通り「ベスト16扱い」となる。
得られるポイントは、「ベスト16扱い」のポイントとなる。
- d) 準決勝で、試合続行不可能な大けがにより3位決定戦を棄権した場合ペナルティ措置適用対象外となる。結果順位は4位で付与されるポイントも4位となる。
- e) 決勝戦を、交通手段の都合で棄権した場合(予約した便に間に合わないなどが理由で)
ペナルティが適用される。結果順位は、2位だが付与されるポイントは4位のポイントとなる。

f) 全日本選手権における本戦進出選手への翌年度参加資格付与については、この棄権ペナルティルールの適用後にベスト32に勝ち残った選手に付与される。大会期間中の怪我による除外措置は競技委員会の判断となる。

g) その他ケース

途中棄権した試合	結果順位（ポイント付与扱い）
決勝を棄権	4位
3位決定戦を棄権	ベスト8
準決勝を棄権	ベスト16

(6) その他

- 棄権者がでた場合は、それを除いて大会後にグレードを設定する。
- 予選、本戦方式の場合、予選はベスト64扱い、ベスト128扱いのようにしてポイントを与える。
- ラッキールーザーのポイントは、勝敗にかかわらず本来負けて得られる順位ポイントのひとつ上のポイントとする。(通常の予選、本戦方式の大会では、本戦1回戦敗退のポイントとなる。)
- 3位決定戦が行われず、3位が2人いる場合、3位のポイントはポイント表の3位と4位の中間のポイントとする。(小数点以下は四捨五入)

グレード/ポイント対比表

	全日本選手権	ジャパンオープン	JSA 地区支部主催 オープン大会						その他の オープン大会					
	SUPER A	SUPER A	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F
1位	700	1200	350	280	220	180	140	110	280	220	160	130	100	80
2位	595	1020	298	238	187	153	119	94	238	187	136	111	85	68
3位	490	840	245	196	154	126	98	77	196	154	112	91	70	56
4位	385	660	193	154	121	99	77	61	154	121	88	72	55	44
ベスト8	280	480	140	112	88	72	56	44	112	88	64	52	40	32
ベスト16	176	300	88	70	55	45	35	28	70	55	40	33	25	20
ベスト32	105	180	53	42	33	27	21	17	42	33	24	20	15	12

ベスト 64 扱	70	120	35	28	22	18	14	11	28	22	16	13	10	8
ベスト 128 扱	49	84	25	20	15	13	10	8	20	15	11	9	7	6
ベスト 256 扱	28	48	14	11	9	7	6	4	11	9	6	5	4	3
ベスト 512 扱	14	24	7	6	4	4	3	2	6	4	3	3	2	2

A から F グレードは上記にボーナスポイントによる補正が入る。

地区・都県支部クローズ選手権ランキングポイント規定

平成 24 年 2 月 1 日初版

『ランキングシステムポイント基準設定』（ポイント取得可能大会）の C)および D)にあたる大会のランキングポイント決定は、以下条件の（１）～（５）によって決定される。

（１）１回戦敗退者のポイント

１回戦敗退の場合でも６ポイントとする。さらに、ドロー作成に用いたランキングに含まれる全日本選手権の本戦出場者数に応じて以下の表１の通りボーナスポイントを加える。（以下、１回戦敗退、出場にて得られるポイントを「基点」とする）

（表１）

全日本 本戦出場選手数	ボーナス	基点
８人以上	５	１１
６人または７人	４	１０
４人または５人	３	９
２人または３人	２	８
１人	１	７
０人	０	６

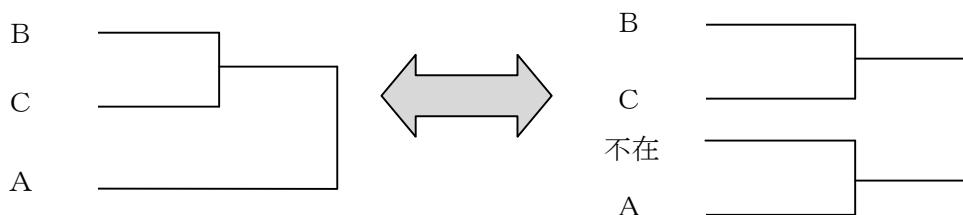
（２）２回戦以降のポイント

１回戦敗退でも得られるポイント「基点」に対して、１回勝つ毎に基点を加えたポイントとする。たとえば、３回戦敗退（＝２回戦勝利）者へは、「基点」＋「基点」×２となる。また、不戦勝も勝者と同じ扱いとする。

（３）シードの扱い

１回戦がなく２回戦が初戦となるシードの場合、１回戦は不戦勝した扱いとする。（例１）たとえば、２回戦の初戦敗退者へは、「基点」＋（「基点」×勝ち数１）が与えられる。また、予選、本戦方式のトーナメントの場合では、本戦の初戦敗退者へは、予選決勝で敗退した場合に得られるポイントに基点を加えたポイントを与える。

（例１）下のように選手Aの初戦は、不戦勝と定義される。



(4) 3位決定戦が行われる場合のポイント

3位決定戦が行われる場合は、3位ポイントはベスト4のポイントに基点の半分を加えたポイントとし、4位ポイントはベスト4のポイントから基点の半分を引いたポイントとする。

ただし、「基点」の半分の小数点以下は繰り上げとする。

(5) その他

- ラッキールーザーのポイントは、勝敗にかかわらず本来負けて得られるポイントに基点を加えたポイントとする。(通常の予選、本戦方式の大会では、本戦1回戦敗退のポイントとなる。)
- すべての1回戦(小枠)が棄権によって対戦が無く成立しなかった場合は、ドロワー作成時の2回戦を1回戦と修正する。
- ドロワーによって、おおよそ(表2)のようなポイントとなる。

<<参考>>

地区支部選手権ポイント表(表2)

(表2) 基点=6の場合

順位	128ドロワー級	64ドロワー級	32ドロワー級	16ドロワー級	8ドロワー級
1位	48	42	36	30	24
2位	42	36	30	24	18
ベスト4	36	30	24	18	12
ベスト8	30	24	18	12	6
ベスト16扱	24	18	12	6	
ベスト32扱	18	12	6		
ベスト64扱	12	6			
ベスト128扱	6				

基点ボーナスによって補正が入る

2020年5月1日初版

PSA 大会結果ジャパンランキング適用における ランキングポイント規定

『ランキングシステムポイント基準設定』（ポイント取得可能大会）の F)にあたる大会のランキングポイントは、以下の通りとする。

PSA 大会に出場して得られたポイントと、以下に定める変換係数（以下、PJ 換算係数）との積をジャパンランキングポイントとする。

PJ 換算係数：10

（2020年06月現在）

※PJ換算係数は、一定期間で見直すことがある

但し、ジャパンランキングへの適用は、以下の制約がある。

1. 日本国籍を有する
2. JSA プロ会員、ジュニア会員、強化指定（または候補）の学連会員である
3. PSA大会に出場して得られたポイントの申告は、規定の様式に必要事項を記載し、選手自身がJSAにメールする。奇数月の15日までに報告する。
4. 全日本選手権等、JSA公認または主催大会が、PSA公認の場合、ポイントは与えない。（国内公認大会であるため、国内大会の扱いとしてポイントを与えることでの重複を避けるため）

以上